

会社概要

資本金	10,000,000円
業務内容	地中探査(埋設管路探査/路面下空洞調査/地下埋設物調査 他) 漏水調査 地質調査
本社	〒338-0837埼玉県さいたま市桜区田島5丁目19番8号 TEL048-844-1031 FAX048-844-1033
営業所	東北 大阪 千葉
加盟団体	埼玉県地質調査業協会 全国漏水調査協会
登録	地質調査業者登録・質19第2028号 測量業者登録・第(3)-26043号
代表取締役	堤下謙二
技術顧問	石川柳輔 恒川勝(技術士・応用理学部門)

会社沿革

昭和54年	ウォーターエンジニアリング株式会社設立。
昭和55年	地中エンジニアリング株式会社に社名変更。
昭和56年	建設省東京国道工事事務所より地中レーダによる空洞探査を受注。
平成元年	昭和天皇大葬の礼に伴う葬列巡行の国道246号において、地中レーダによる空洞探査を実施する。(関係8企業により受注)。 東京都土木技術研究所の要請によりテストコースで地中レーダ(GSSI社製)のデモンストレーションに参加。 JR東海よりトンネル覆工裏空洞探査を受注。
平成2年	東京都建設局第一・三・五建設事務所より路面下空洞探査を受注。 首都高速道路公団第二建設事務所より路面下空洞探査を受注。
平成3年	建設省関東地方建設局技術事務所より地中レーダによる河川構造物点検用機械の開発に関する調査試験を受注。 東京都下水道局より埋設管探査を受注。
平成4年	建設省関東地方建設局大宮国道工事事務所より国道4号の横断管調査業務を受注。
平成7年	最新鋭地中レーダシステムSIR-10Aを導入。
平成10年	本社を新座市から浦和市(現さいたま市)に移転。
平成12年	さいたま市より地質調査業務を受注。
平成15年	さいたま市水道局より洗管調査を受注。
平成16年	最新鋭地中レーダシステムSIR-3000を導入。
平成20年	ログ型相関式漏水探知システムZcorrを導入。

主な業務実績

《官公庁》

上尾市水道部 市原市水道部 いわき市水道局 宇都宮市上下水道局 大宮北部地域複合施設建設準備室
奥多摩町上下水道課 掛川市水道事業所 川口市水道局 川越市上下水道局 郡山市下水道部
埼玉県越谷県土整備事務所 さいたま市建設局さいたま市水道局 仙台市水道局 草加市水道部 筑穂町上下水道課
秩父市水道部 豊津町役場環境整備課 長岡市下水道建設課 那須塩原市水道部 新座市上下水道部
新津市下水道課 羽曳野市公園土木課 東大和市水道事務所藤岡市上下水道部 前橋市上下水道局 三鷹市水道部
南房総広域水道企業団 三芳水道企業団 武蔵村山市水道課 横須賀市水道局 他

《民間企業》

(株)NIPPOコーポレーション (株)会津総合企画 アイレック技建(株) 安藤建設(株) 応用地質(株) 大林道路(株)
オリジナル設計(株) (株)機動技研 (株)極東技工 (株)キンスイ 金剛建設(株) (株)サンエーサンクス サンキコンサルタンツ(株)
清水建設(株) (株)ジャスト 住友不動産(株) 西武建設(株) (株)ダイエーコンサルタンツ 大成建設(株) 大成設備(株)
(株)大東設計コンサルタント (株)トデック 日本シビックコンサルタント(株) (株)日本水道設計社 (株)パワーアンドコムテック
八千代エンジニアリング(株) (株)山口水道設計事務所 (株)ユーディケー 他

地中エンジニアリング株式会社

(本社) 〒338-0837
埼玉県さいたま市桜区田島5丁目19番8号
TEL048-844-1031 FAX048-844-1033

大阪営業所: TEL06-6131-3551 FAX06-6131-3552
東北営業所: TEL022-716-2671 FAX022-716-2672
千葉営業所: TEL043-301-2912 FAX043-301-2913
九州営業所: TEL092-482-8231 FAX092-482-8236

地中エンジニアリング株式会社



ー地中の総合コンサルタントー

会社紹介

地中エンジニアリングは『技術創造型企業』を理念に掲げた地中の総合コンサルタント会社として、**〈地中探査〉〈漏水調査〉〈地質調査〉**を行っています。これら業務のうち、特に当社の特色は〈地中探査〉にあり、これは、様々な**“物理探査”**の手法を駆使することによって掘らずにわかること（間接探査・非開削工法）を目的としたものです。地中エンジニアリングでは、この物理探査の中心的な手法となる地中レーダ法について、1979年の会社設立以来、社会のニーズの変化と共に技術的発展と適用領域の開拓に努めてきました。現在では土木・建設に関わる幅広い分野において、地中探査技能検定（厚生労働省認定社内検定）の有資格技術者による適切な技術サービスを提供しています。また調査状況に応じて、物理探査に加え簡易ボーリング等を用いた**直接探査**を組み合わせた複合調査も実施しています。



軽量・コンパクトな地中レーダSIR-3000(GSSI社製)

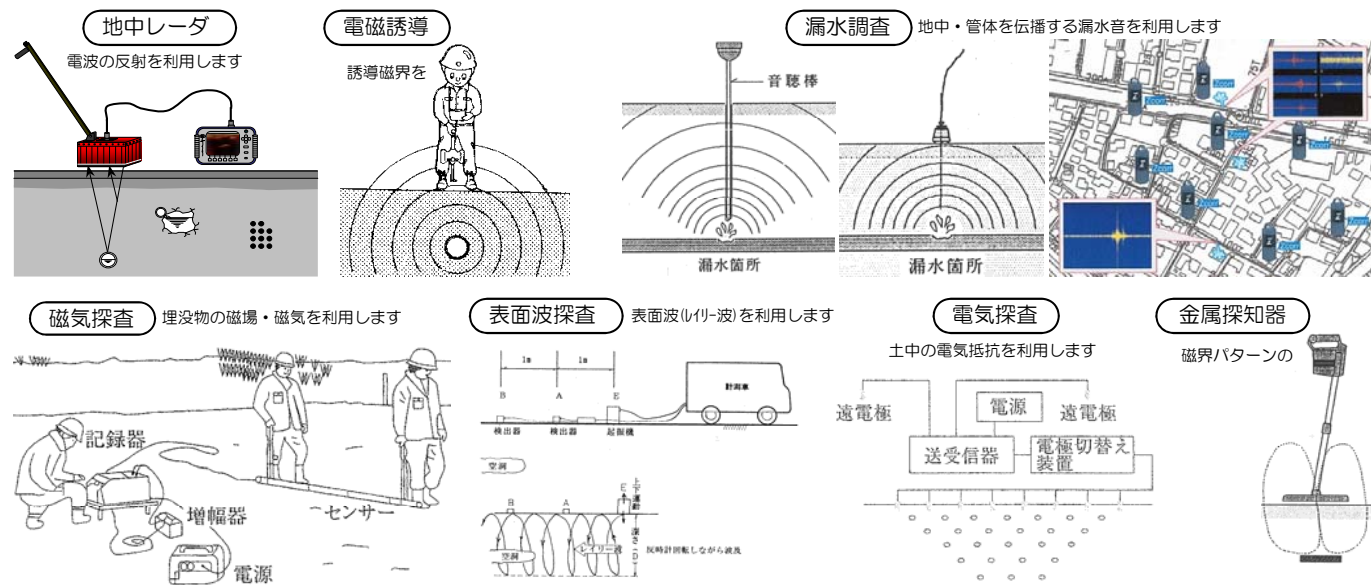
『位置OK! 深度OK! 掘らずにOK!!』

“物理探査”とは・・・

人為的に、あるいは自然に地中に与えられた物理量(電磁波、電気、磁気、地震波・弾性波・音波、放射能、地温、重力等)を地表で観測し、そのデータから、実際に開削せずに間接的に地中状況を推定する調査方法です。地下資源探査や地質構造の調査法としては一般的なものですが、土木工事などの基礎的調査手法としても広く利用されるようになってきました。

- 掘らない
- 路面を傷めない
- 騒音・振動がない
- 線・面的探査が可能
- 交通渋滞の緩和
- 経費削減

物理探査の一例



業務内容

<p>地中探査</p> <p>埋設管路調査 路面下空洞調査 (道路・護岸・トンネル・管渠廻り) 地下構造物・埋設物調査 不発弾調査 鉄筋調査 遺跡・埋蔵物調査</p>	<p>物理探査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地中レーダ ・電磁誘導 ・表面波探査(レイリー波)
<p>漏水調査</p> <p>音聴調査 相関式漏水探知器調査 トレンド工法による調査 不発弾調査 鉄筋調査 音圧・水圧調査 洗管調査</p>	<p>調査法</p> <p>直接探査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易ボーリング ・オートマチックラムウツデイング ・スリーデンスウツデイング
<p>地質調査</p> <p>各種ボーリング調査 各種原位置試験 各種室内試験</p>	



地中探査

直接探査



漏水調査



地質調査